

# 新聞のつくり方

年 組 番 名前 ( )

## ★《新聞のとくちょう》

- いくつもの記事が集まってできている。記事には出来事を知らせるものや、何かを解説するものなど、さまざまな種類があります。
- いちばん知らせたい記事がはじめに大きくのっています。
- 記事ごとに見出しという題が付いています。
- 写真、絵、図、表などが効果的に使われています。
- 新聞名、発行日、発行者が明記してあります。
- 「ページ」という数え方はせず、「面」という数え方をします。

## ★《新聞の作り方》

### ① どんな新聞にするか決める。

何についての新聞にするのか、だれに読んでもらうか、大きさや形など新聞のイメージを決めます。

### ② のせたい内容を決めます。

目的に合わせて、どんな内容が必要かを考えます。新聞の面数や大きさなどを考えながら、記事の数とだいたいの分量を決めます。

### ③ 記事の下書きをする。

記事ごとに下書きをします。文字数を数えやすいように、マス目のノートや原稿用紙を使うといいでしょう。写真や図を入れるかどうか、入れるならどのようなものかいいかなども考えながら、書きましょう。文の終わりを「です・ます」にするか「だ・である」にするかを決め、交じらないようにしましょう。

### ④ わり付けをする。

記事の大きさと、入れる場所を決めることを「わり付け」といいます。下書きをもとに、見出しや写真、図などの大きさ、位置も考えて、わり付けをしましょう。

### ⑤ 仕上げをする。

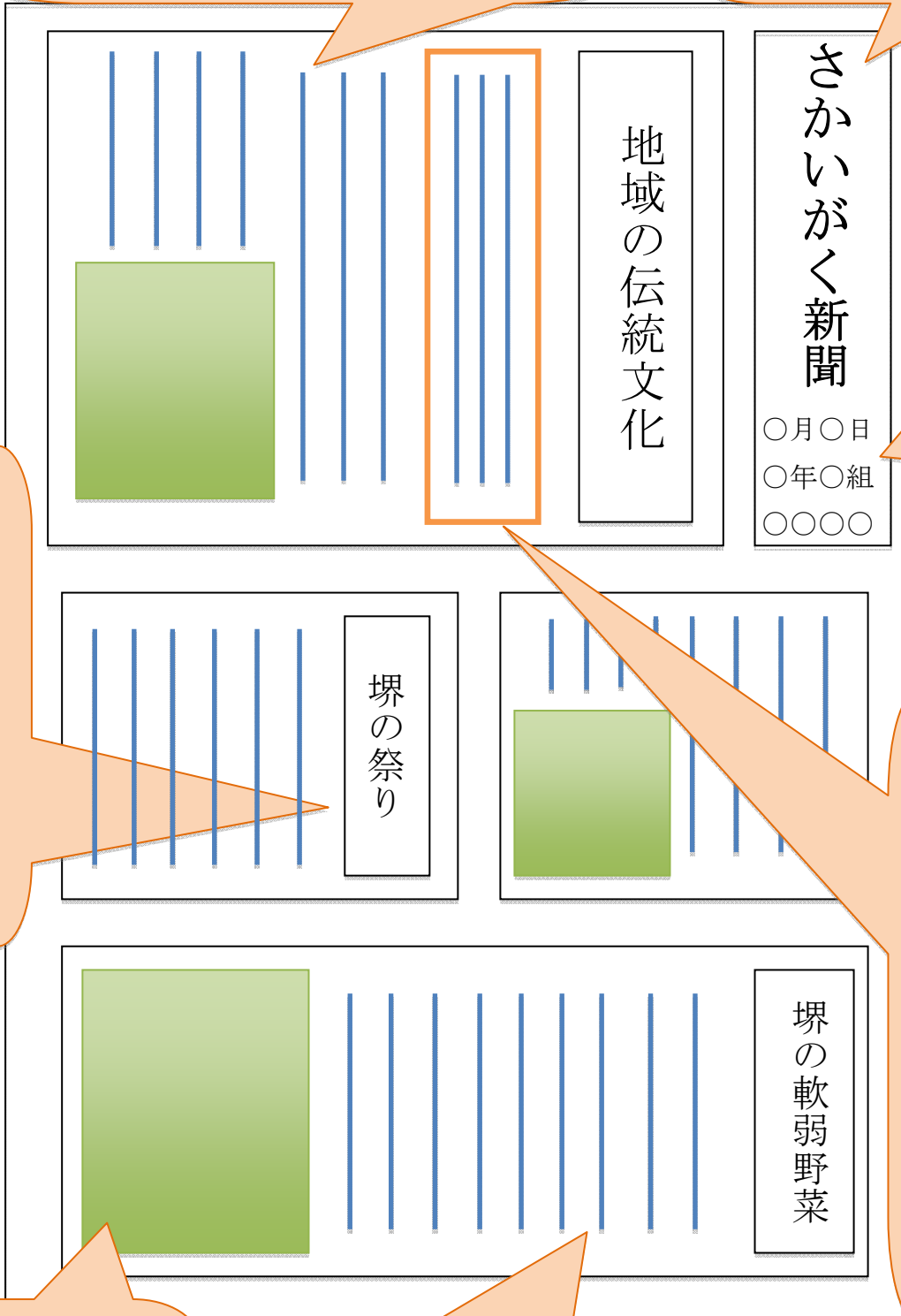
下書きをもとに記事を書きましよう。まちがいがなかったしかめて、ていねいな字で書きましよう。

#### ※写真を使う時の注意

- 人物がのっている時は、必ずその人にどこにどのようにのせるのか許可をもらう。
- 建物などは持ち主に必ずどのようにのせるのか許可をもらう。

新聞名の横や一番上の目立つ場所には、新聞の中で一番伝えたい記事<sup>はいち</sup>を配置します。

新聞名



発行日・発行者

さかいがく新聞  
○月○日  
○年○組  
○○○○

「リード文」  
記事の内容を短くまとめ表したものを。大きな記事の場合、本文の前につけられます。

「見出し」  
ひとことが書かれてくるのか短く簡潔にまとめることが大切です。

「写真や表など」  
記事をわかりやすくするために大きさや配置を考えています。

「本文」  
記事の詳しい内容が書かれています。(いつ・どこで・だれが・何をした・なぜ・どのように) 大事なことや結論が先に書かれています。